

2015年度新規事業：コミュニティの再生・活性化事業

人口の減少や流出、少子高齢化などの影響により地域コミュニティの希薄化が進んでいるなか、海洋センターをこれまでのスポーツ振興の場に止まらず、健康者・障がい者・子供からお年寄りまで「誰にでも親しまれ、気軽に集える」場所へとシフトすることで、海洋センター施設を地域住民にとっての「たまり場」として地域コミュニティの拠点とする為、北海道 積丹町、熊本県 湯前町をモデル自治体として選定し、今年度より「海洋センターを活用した地域コミュニティの再生モデル事業」として実施しています。

また、「コミュニティ機能付加改修支援」も今年度の新規事業として実施しており、海洋センターに新たなコミュニティを作るための支援として 100 万円を上限に、海洋センターの改修、備品購入等を支援しています。



モデル 2 町長挨拶

積丹町長挨拶



北海道積丹町長
松井秀紀 様

少子化や高齢化、人口減少はどの自治体でも課題であり、とりわけ積丹町においてはコミュニティの活性化が大きな課題となっております。そうした中、本町では昨年まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口ビジョン・総合戦略を策定し、基本目標に「子どもを育てやすい環境を整える」、「いつまでも住み続けられる暮らしの場をつくる」を掲げております。

積丹町 B&G 海洋センターは、子育て支援や福祉、健康づくり、教育を担う施設が集積するゾーンに位置し、さらに今春開設予定の地域密着型特別養護老人ホームなどの高齢者福祉施設にも隣接しています。

こうした地の利を活かし、本事業による子育て・福祉・健康・教育を軸としたコミュニティの活性化は、まさに、地方創生の根幹である「ひと」をつくり、その「ひと」が「しごと」をつくり、「まち」に活力を取り戻すことにほかなりません。現在、海洋センターは幼児から高齢者まで様々な年代の方が集う場所に生まれ変わりつつあり、「誰にも親しまれ、気軽に集える場所」へと高度利用化が進んでおります。

今後も、B&G 財団より支援をいただいた本事業をさらに発展させ、地方創生の一翼を担ってまいります。

湯前町長挨拶



熊本県湯前町長
鶴田正己 様

昨年、湯前町をはじめ、全国ほとんどの自治体が「まち・ひと・しごと創生法」による人口ビジョン・総合戦略を策定しました。

その中において湯前町 B&G 海洋センターを有効活用し地域づくり・健康づくりに関する新たな取り組みを実行できることは大変ありがたく感じています。

今年度においては体成分分析器のカロリー処方によって個人の運動目標を知ることができ、自身にあった健康づくりに取り組むことが出来る環境を整えることが出来ました。今後は運動プログラムのみならず ICT 事業や子育て事業との連携を計り、多目的な施設として幅広い世代の方々に気軽に利用できる施設となるよう事業展開を実施いたします。

地方創生のチャンスは町の中にあります。町民が生き生きと輝き、誇りに思えるような町のポテンシャルを発揮できれば、必ず道は開かれます。その一翼を担う、地域住民の活躍の場・憩いの場として今後の海洋センター事業に期待しています。

北海道積丹町の取組み

B&G 財団の支援によるハード整備

- ・キッズスペースの設置
- ・オムツ交換台の設置
- ・視聴覚機材の設置
- ・カラオケ機材の設置
- ・休憩スペースの設置
- ・図書コーナーの設置
- ・玄関ベンチの設置
- ・貸出用活動量計、万歩計の購入



活用

整備した施設を活用した事業

- 子育てコミュニティ・子ども居場所づくり
 - ・子育て支援事業の実施
 - ・放課後子ども教室の実施
 - ・夏、冬休み学習支援事業の実施
 - ・土曜日少年教室の実施
- 憩いの場づくり
 - ・休憩スペース、図書コーナー、カラオケ機材等の設置によるスポーツ以外の利用促進
 - ・視聴覚機材を活用した俳句教室の開催
- 健康づくりを通じたコミュニティ
 - ・健康講演会の開催、健康相談会の開催
 - ・活動量計、万歩計の貸与による運動習慣の促進
 - ・トレーニングルーム利用による交流促進

気軽に足を運べる施設になりました!

●子育てコミュニティ・子ども居場所づくり



キッズスペースの設置



親子交流イベントの開催



教員・ボランティアによる学習支援



ALT と連携した少年教室

●憩いの場づくり



図書コーナーの設置



視聴覚機材を活用した俳句教室

●健康づくりを通じたコミュニティ



健康づくり講演会



運動後の休憩場所

活動の様子

●日常的な利用が増加！“憩いの場”へ

各種ハード整備により、乳幼児の親子やお茶会を開く高齢者、小中学生が放課後に気軽に立ち寄るようになりました。特に、平日の日中は利用者が少ない傾向にありましたが、これまで利用したことのない住民が足を運ぶようになり、海洋センターには常に住民が集うように変化してきました。

ロビーに休憩スペースやキッズスペースを設置したことにより、スポーツをしない方の利用が急増しています。

教室などが無い日でも、フラッと立ち寄っても誰かがいる、そんな日常的な憩いの場、居場所として定着してきました。

●子育てサークルが発足!!

子育て世代が自然と集まるようになったことから「子育てサークル アンドリークラブ」が発足。子育て世代の活動の幅が広がり、町内の子育て世代のネットワークが強化されつつあります。お互いに助け合いながら、楽しい活動に繋がることが期待しているところです。

このように住民自らが動き出す機運が高まるなど、住民の意識も変化が表れ始めています。

●利用者数も増加!

ハード整備が概ね終了した 2015 年 8 月～ 12 月までの利用者数は前年度と比較して約 1.5 倍に増加しました!

ロビーが気軽に利用できるようになったことから、他施設(アリーナやトレーニングルーム)の利用者増加にもつながっています。

熊本県湯前町の取組み

B&G 財団の支援によるハード整備

- ・ロビーの改修
- ・視聴覚機材の設置
- ・お茶サーバーの設置
- ・テーブル、椅子、本棚の設置
- ・体成分分析器の設置
- ・トレーニングルームの設置
- ・貸出用ノルディックウォーキング器材の購入



活用

整備した施設を活用した事業

- 憩いの場づくり
 - ・ものづくり体験会(大学との連携事業)の実施
 - ・パブリックビューイング・大会応援の実施
 - ・伝統芸能鑑賞会・伝統芸能の練習会場としての活用
 - ・ロードレース・駅伝応援会の実施
- 健康ベースアップ事業
 - ・健康づくり大会(大学との連携事業)の開催
 - ・検診センターと連携した身体測定会・運動教室の実施
 - ・検診センターと連携した子供向け運動教室の実施
 - ・社会福祉課と連携した送迎付き身体測定会・運動教室の実施
- ボランティア活用事業
 - ・ボランティア検討会の開催
 - ・ボランティア講師によるトランポリン教室等の実施

みんなでB&Gにいくばい

●憩いの場づくり



ロビーを憩いの場として活用



ドミノ体験



大学との連携事業



伝統芸能鑑賞会

●健康ベースアップ事業



ウォーキング教室



トレーニングルームの活用

●ボランティアの活用



ボランティアによるトランポリン・スラックライン教室



活動の様子

●憩いの場づくり：スポーツ以外の活用が活発に!

・視聴覚機材を活用したパブリックビューイングや伝統芸能の鑑賞会、大学と連携したものづくり体験会などを行うことでスポーツに興味がなかった方の利用が促進されています。また、練習の振り返りに視聴覚機材を用いるなどの活用も増えており、センターに足を運ぶ方が増えています。

●健康ベースアップ事業：スポーツが更に活発に!

・設置した体成分分析器や検診センターと連携した定期的な身体測定会、運動教室により、自分の体を詳しく知ることによってこれまで以上に真剣に運動に取り組む人が増えてきています。

また、簡単に使えるトレーニンマシンやノルディックウォーキング機材の貸し出しによりこれまで海洋センターを活用してこなかった方の利用も促進されています。

・社会福祉課と連携した送迎付き運動教室を開くことで、これまで足を運べなかった方の運動と憩いの場として海洋センターが利用されるようになりました。

●ボランティア活用事業：住民の活動が活発に!

・住民に対する意識調査を行った結果、ボランティアを希望している方が全体の 4 割強と多いことが分かり、早速ボランティア検討会を開催しました。事業の参加はもちろん、ボランティアによる教室も始まりました。